2020年

4月

22日

コマツ産機株式会社 開発本部				
開発1部 制御開発グループ				
部長	G長	主技	担当	
		中村		

配布先 営業本部) 営業1部長

開発本部) 開発1部長 開発2部長

中村	7				
日 時 2020. 4. 21 15:00 ~ 16:15 場所 Skype会議	Skype会議				
トヨタ 高橋様、平田様、小野様、宮崎様					
コマツ産機 道場副部長 中村(記)、山田、橘、谷井出席者					
					トヨタ堤新A スライドモーション運用打合せ
件名	名				
No. 内容 期限	担当				
概要 スライドモーションの運用について、トヨタ殿のお考えを、頂いた資料で 説明頂いた。					
議事10.1SPM刻みでモーションをあらかじめ保持する仕組みで、4/28	中村				
生産SPMへの対応はパターン①(資料最終頁)として見積りを提出する。					
2 生産SPM対応について、オーバーライドが100分の1単位での調整 4/24	中村				
が可能かを確認し、回答する。					
3 2項が可能な場合、生産SPM対応パターン②について見積りを提出する 4/28	中村				
4 その他資料に対する補足					
(1) 本資料においては、MaxSPMとはALCSがデュエルを挿入した後の					
モーションのSPMを意味する。スライドモーションが持つ最大SPMではない。 (2) モーション名の29xxxの29はALCS上の管理番号というだけの数字					
(3) LOPへは型番(0~199)が送信される。					
(4) 型番号はLOP・同期盤・パネコンまで共有する。 (5) MaxSPM >= 生産SPMとなるようインターロックが必要					
(6) フリーパスの場合の型データの持ち方は現状の考え方と同じとする。	(6) フリーパスの場合の型データの持ち方は現状の考え方と同じとする。				
(7) パネコン内で管理するモーションデータはベースモーション、及びSPMが わかる名称で管理すること。					
なお、同名称は外部(アイダさん)から参照されることはない。					

